

## 視察調査・研修会等報告書

令和 4年 1月 11日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議員 福田 洋一 様

議員氏名( 福田 幸平 )



研修・視察年月日	令和 4年 1月 6日 ~ 令和 4年 1月 7日
研修会場・視察先	福岡県福岡市 博多区博多駅東1-16-14 リファレンス駅東ビル
研修名・視察目的	地方議員研究会 公共施設特別研修 ・基礎からわかる公共施設マネジメント ・財政危機に直面する公共施設
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	東洋大学 客員教授 南 学 氏
参加議員(同行者)	福田洋一、橋本守行、篠崎佳之、小林英恵
調査概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎からわかる公共施設マネジメント</li> </ul> キーワードは「時限爆弾」「縮充」「因数分解」。公共施設マネジメントで重要なのは、「安全確保(市民の生命財産を傷つけない、市役所管理者を刑事犯罪人にしない)」「縮充(施設の包括保守点検、保全計画策定)」「機能見直し(施設の機能を因数分解する)」。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・財政危機に直面する公共施設</li> </ul> コロナ禍による公共施設への影響で、「人が集まる施設が否定される」「税収激減と財政規律の崩壊」が生じる。今後重要なのは、財政確保のためには「総面積の統廃合」「指定管理による経費圧縮」「受益偏在改善率」「売却貸付け等による遊休資産の活用」を行うことである。
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	全国的な傾向で、今後人口減少による財政悪化は避けられない。そんな中、公共施設マネジメントの重要性は非常に高く、すぐに取り掛からなければならないと感じた。役所職員や議員はもちろんのこと、市民も含めて、財政とのバランスや要望活動に対する意識改革が不可欠だと思った。 今後の議会運営で今回学んだことを反映して行きたい。

## 視察調査・研修会等報告書

令和 4年 3月 28日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 福田 洋一 様

議員氏名( 福田 幸平 )



研修・視察年月日	令和 4年 3月23日 ~ 令和 4年 3月24日
研修会場・視察先	福岡県福岡市 博多区博多駅東1-16-14 リファレンス駅東ビル
研修名・視察目的	地方議員研究会 財政基礎研修 Level.3 ・あなたのまちの財政比較分析編 ・財政状況資料集 part.1・2
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	立命館大学 政策科学部教授 森 裕之 氏
参加議員(同行者)	荒井 覚
調査概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あなたのまちの財政比較分析編</li> </ul> 自治体財政の仕組みの基本をおさらいした後、一般財源と特定財源、地方税・地方交付税・臨時財政対策債・国庫支出金のポイント、歳出の原則・特徴を振り返った。最後に決算カードの要点を教わる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・財政状況資料集 part.1・2</li> </ul> 財政力指数・経常収支比率・健全化判断比率についておさらいし、決算カードをもとに類似団体内順位を参考に地元自治体の財政比較分析票を解説する方法を学んだ。
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	これまで決算審査の際、収支総額と予算と大きな変動のあった事業のチェックなどを主として質問をしていたが、もっとグローバルな視野で中長期的な物の見方も重要であることを改めて実感した。また、これまで見えていなかった課題や執行部が行っている事業計画が適切かどうかを議員がもっとしっかりと分析・判断をする事が不可欠だと思った。  今後の議会運営で今回学んだことを反映して行きたい。

## 視察調査・研修会等報告書

令和 4年 3月 28日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議員 福田 洋一 様



議員氏名( 福田 幸平 )

研修・視察年月日	令和 4年 3月25日
研修会場・視察先	大阪府大阪市 東淀川区東中島1-18-22 新大阪丸ビル別館
研修名・視察目的	地方議員研究会 議員が知っておくべき財政の話 ・一目置かれる質問のツボ①
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	元 寝屋川市財政部長 程岡 俊和 氏
参加議員(同行者)	なし
調査概要	<p>・一目置かれる質問のツボ①</p> <p>議員として最低限押さえておく知識、財政のルールと役所のかかわり、過去のセミナーで多かった質問、議員は役所からどう見られているかなどをご教授いただき、併せて国の予算スケジュールのタイミングや予算時と決算時との差額の用途を指摘することの大切さを学んだ。</p>
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	<p>議員は分野ごとに決めている役所の財政計画に対して個別に考えるのではなく、もっと包括的にチェックしなければならない。多くの議員が個別案件や要望等の質問をしていることが多いが、もっとグローバルな視野で中長期的な物の見方も重要であることを改めて実感した。また、財政調整基金や減債基金などへの対応や債務返済計画が適切かどうかを議員がもっとしっかりと分析・判断をする事が不可欠だと思った。</p> <p>今後の議会運営で今回学んだことを反映して行きたい。</p>